

雨量観測の目的と概要

目的

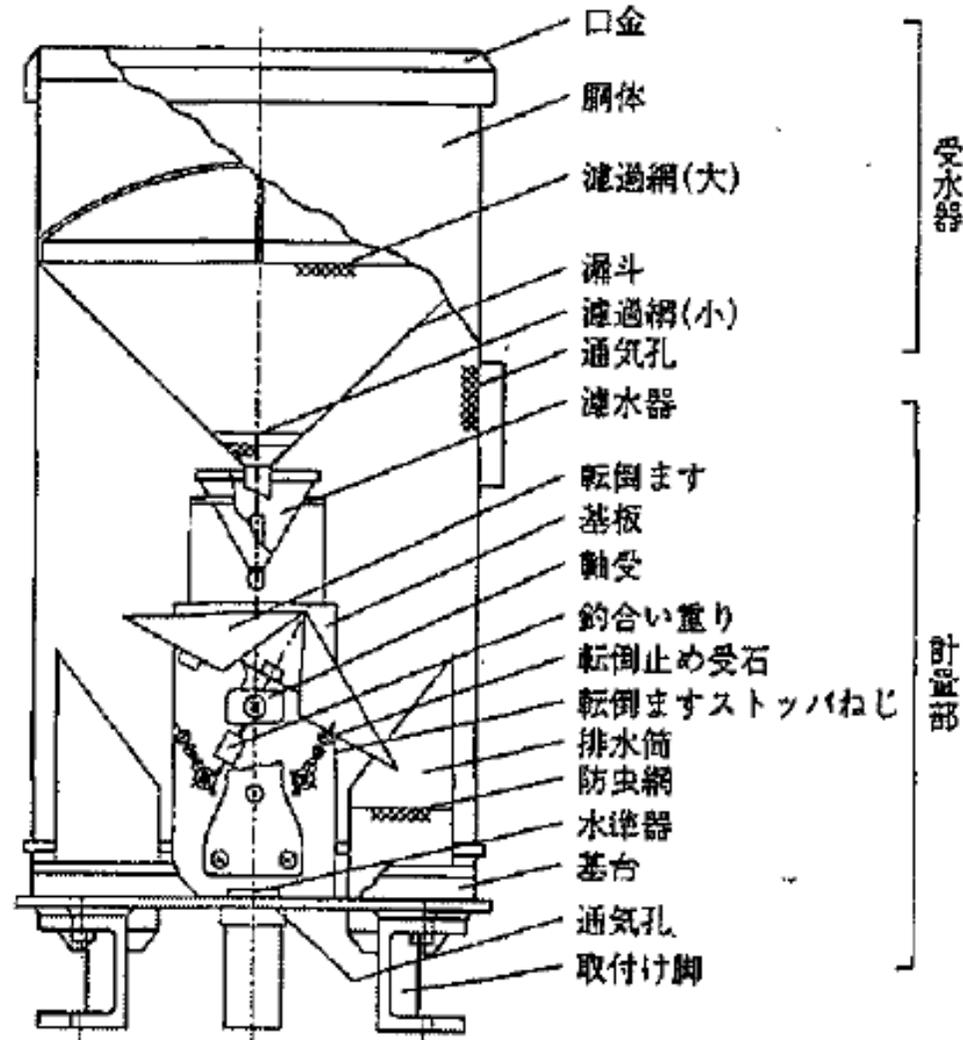
- 土砂災害に関係の深い降水量(雨量)を把握する

概要

- 通常は雨量計で測定する
- 地上での観測に使われる雨量計には、指示雨量計、転倒ます雨量計、感雨計、積雪計などがある
- 降水の強さを計る降水強度計や、広域の雨量を計るレーダ雨量計、ドップラーレーダ雨量計、二重偏波レーダ雨量計、垂直スキャンレーダ雨量などもある

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

雨量観測のイメージ(転倒ます雨量計)



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

雨量観測 実施上の留意事項

設置・観測環境

- 雨量計の受水口を水平にする
- 地面や周辺器物による雨の跳ね返りを防止する(周辺1m程度に芝や砂利を敷く)
- 樹木や建物から、高さの2~4倍以上離す
- 吹き上げ風の影響を受ける場所は避ける(屋上、崖上など)
- 寒冷地・積雪地では、温水式や溢水式雨量計を設置する

その他

- 定期的に清掃を行う
- 凍結、小動物の侵入(蜘蛛等)、植物の生育、人為的な影響に注意する
- 点検時には、時刻のチェックも忘れずに行う

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受ける イメージ	災害発生状況
10以上～ 20未満	やや強い 雨	ザーザーと降る	長く続くときは注意が必要
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	<ul style="list-style-type: none"> ●山崩れ、崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要 ●都市では下水管から雨水があふれる
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	<ul style="list-style-type: none"> ●都市部で地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある ●マンホールから水が噴出する ●土石流が起こりやすい ●多くの災害が発生する
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

降水量を測定している主な機関

気象庁

国土交通省

自治体

NEXCO

消防署

JR

電力会社

学校

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成